

学科のディプロマ・ポリシー

ナンバリング	科目区分	科目名	学修目標	開 講 年 次	学修成果							
					経/営/情DP1 基礎的な学修力を養い、人間・社会・自然に対する探究心と深い理解力を身につけている	経DP2 経済社会・企業社会・情報社会の仕組みを理解し、各国経済の現状と動向を理論的に把握できる能力を身につけている	経DP3 経済・金融・統計に関する専門知識を修得し、実社会でそれらを基礎に現実の問題や課題を分析し、改善策や解決方法を提示できる能力を身につけている	営DP2 経済・経営に関わる情報・データを適切な方法で収集・分析し、課題の発見や解決に取り組む能力を身につけている	営DP3 経営・会計に関する専門知識を修得し、実社会で適用可能な経営管理能力、経営改善策・経営戦略の立案能力、問題解決のための実践力を身につけている	情DP2 現代の高度情報化社会の仕組みを理解し、情報化社会で生きていくために必要な各種リテラシーを身につけている	情DP3 情報科学・情報工学に関する専門知識を修得し、高度な情報技術を駆使することによって、情報社会における課題を発見・分析し、その解決に取り組む能力を身につけている	
E-EC-101L	専門基礎	経済学入門Ⅰ(ミクロ)	経済主体の最適化行動と市場メカニズムを理解して、ミクロ経済学の論理と方法で経済問題を考察できるようになる。	1	◎							
E-EC-102L	専門基礎	経済学入門Ⅱ(マクロ)	消費行動、企業の設備投資行動、そして総需要決定メカニズムを正確に理解すること。乗数理論を数式、グラフそして現実経済に照らして正確に説明できること。	1	◎							
E-MN-101L	専門基礎	経営学入門	企業経営に関する知識の習得だけでなく、企業がどのように社会に影響を与えているのかを学ぶことができる。それらを学ぶことにより、就職活動や社会において必要となる力(社会力)を身に付けることが可能となる。	1	◎							
E-MN-102L	専門基礎	簿記入門	簿記の考え方を理解し、企業の財政状況及び損益実績を算定できるようになることです。簿記入門では、具体的には日商簿記検定3級レベルの簿記における精算表の作成までの知識と技術を習得することを目指します。	1	◎							
E-MN-201L	専門基礎	商業簿記	1.日商簿記検定3級(小規模の株式会社)と日商簿記検定2級との簿記処理の違いを理解する。 2.日商簿記検定2級相当の基本的な簿記処理ができる。 3.基本的な連結精算表および連結財務諸表作成の問題を解くことができる。	2	◎							
E-MN-202L	専門基礎	工業簿記	工業簿記の意義や基礎知識について理解すること。 日商簿記検定2級レベルの工業簿記の計算技術を身につけること。	2	◎							
E-IN-102L	専門基礎	情報とコンピュータ	IT技術の活用が、企業の利益を大きく左右する時代になっています。このため、選択するコースに関わらず、「情報」について理解しておく必要があるといえます。また、企業においてIT技術を活用するためには、経営の知識も必要となります。基本情報技術者試験の範囲には、IT技術、マネジメント手法、経営などが含まれています。本講義では、講義内容で示している範囲について、基本情報技術者試験(やITパスポート)に合格できるレベルで理解することを目指します。	1	◎							
E-IN-101P	専門基礎	情報活用基礎Ⅰ	大学の学習で必要となるタッチタイピング・文書作成ソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトのスキルを身につけ、操作等ができるようになる。	1	◎							
E-IN-103P	専門基礎	情報活用基礎Ⅱ	各自の目的に応じて、ホームページ作成、データベースの活用、Perlスクリプトの利用ができるようになること。	1	◎							
E-CS-103L	専門基礎	ファイナンシャル・プランニング	この授業では国家資格のファイナンシャル・プランニング技能士3級に合格できるレベルの学力が身に付くようにします。ただあくまで資格の取得が目的ではなく、受講生各自が人生設計をするのに必要な知識を身に付けます。	1	○							

E-CS-301S	演習	経営コース、専門演習Ia	経営および、それに関連する科目の専門的な知識の修得と、それに基づいたクオリティの高い卒業研究の指導を行います。	3	○			◎			
E-CS-302S		経営コース、専門演習Ib									
E-CS-401T		経営コース、専門演習IIa	経営および、それに関連する科目の専門的な知識の修得と、それに基づいたクオリティの高い卒業研究の指導を行います。	4				○	◎		
E-CS-402T		経営コース、専門演習Iib									
E-CS-301S	演習	情報コース、専門演習Ia	情報科学・情報工学を中心とした専門的科目から得られた知識に基づき、卒業研究テーマを確定し、研究計画立案できるようにすること。	3	○					◎	
E-CS-302S		情報コース、専門演習Ib									
E-CS-401T		情報コース、専門演習IIa	情報科学・情報工学を中心とした専門的科目から得られた知識に基づき、卒業研究テーマを確定し、研究計画立案できるようにすること。	4						○	◎
E-CS-402T		情報コース、専門演習Iib									
E-CS-211S	演習	特別演習Ⅰ	(1)観光情報学の基礎を理解すること (2)実践的なWebアプリケーション開発技術を習得すること	2						○	◎
E-CS-212S	演習	特別演習Ⅱ	この授業は、M&Aを行う場面、M&Aにおける利害関係者の利益保護、M&Aの市場への影響が、それぞれM&Aの手続をどのように形作ってきたかについて基礎的な理解を確立することを目標とします。	2				○	◎		
E-CS-213S	演習	特別演習Ⅲ	PCを用いて経済波及効果の実証分析ができるようになること。	2		○		◎			
E-CS-214S	演習	特別演習Ⅳ	経済古典の精読による検証段階までを含め、テキストマイニングの手法を使いこなせるようになること。	2		○		◎		○	◎
E-CS-215Z	演習	特別演習Ⅴ	海外において英語で経営系専門科目を学ぶことで、専門学科に関する国際的・域際的知見の幅を広げること。	2		◎			○		○
E-CS-216Z	演習	特別演習Ⅵ	海外において英語で経営系専門科目を学ぶことで、専門学科に関する国際的・域際的知見の幅を広げること。	2		◎			○		○

E-EC-201L	主要専門(経)	ミクロ経済学Ⅰ	1.経済学入門1（ミクロ経済学）で学んだ内容を、数学的技術を用いることでより厳密に学びなおす。 2.ミクロ経済学の基本的な概念を理解し、問題を解く能力を身につけることを目標とする。	2		○		◎	○		○
E-EC-202L	主要専門(経)	ミクロ経済学Ⅱ	1.ミクロ経済学で学んだ内容を、数学的技術を用いることでより厳密に学びなおす。 2.ミクロ経済学の基本的な概念を理解し、問題を解く能力を身につけることを目標とする。	2		○		◎			
E-EC-203L	主要専門(経)	マクロ経済学Ⅰ	1.経済学入門2（マクロ経済学）で学んだ内容を、より詳細に学びなおす。 2.現実の世界で生じている経済問題をマクロ経済学の知識を用いて理論的に考察できるようにする。	2		○		◎	○	○	○
E-EC-204L	主要専門(経)	マクロ経済学Ⅱ	1.マクロ経済学で学んだ内容に加えて、長期経済などのより総合的なトピックスを学ぶ。 2.経済全体の視点に立ち、実際の経済問題を理論的に考える能力を身につける。	2		○		◎			
E-EC-215L	主要専門(経)	環境経済学	身近な問題でもある環境問題を通じて、また場合によっては国際的な視点も取り入れつつ、様々な考え方を窺むことを目的とする。また、自身の経済活動が環境問題と密接につながっていることを理解し、その内容を説明することができるようになることを目指す。	2		○		◎			
E-EC-302L	主要専門(経)	計量経済学	・「最小2乗法」「決定係数」「t検定」等の計量経済学の基本的な内容を理解し、内容を説明できるようにする。 ・実際の経済データから回帰分析等を行う手法を身に付ける。	3		○		◎			
E-EC-211L	主要専門(経)	経済学史	(1)現代経済学の基礎となっている考え方を生み出した経済学者たちと、その歴史的社会的背景に関する知識を習得する。 (2)経済経済学説間の継承と断絶、分化と統合のありかたについて理解し、現代経済学の成立過程を論理整合的に把握する。	2		○		◎			
E-EC-212L	主要専門(経)	経済史	経済に対する歴史的な考察を行うことによって、国際社会における様々な問題や身近な経済活動について、自分なりの意見を持つようになることが本講義の目標である。	2		○		○			
E-EC-213L	主要専門(経)	日本経済史	本講義では、主に17世紀から19世紀後期にかけての江戸幕府による経済政策や、飢饉・災害・外圧などの危機への対応を紹介することによって、現代の経済的諸問題についての歴史的考察を行い、それら諸問題に対して自分なりの意見を持つことができるようになることが目的である。	2		○		◎			
E-EC-303L	主要専門(経)	地域経済史	大学生活を送る身近な地域の経済史を学ぶことによって、自らの出身地や他地域への関心を深めるとともに、今後の地域経済の在り方について、自分なりの意見を持つようになることが講義の目標である。	3		○		○			
E-EC-312L	主要専門(経)	産業組織論	市場経済の仕組みを理解して、企業の財・サービスの価格設定や販売方法(販売戦略)について学び、健全な競争環境とは何かを議論できること。また、政府の関与のあり方についても考察できるようになること。	3		◎		○			
E-EC-214L	主要専門(経)	日本経済論	(1)人物像と時代背景、思想と政策の関わりを、立体的に把握する。 (2)過去と現在の日本経済を比較考量して将来の見通しを立てるための、中長期的視野を獲得する。	2		○		○	○		○
E-EC-305L	主要専門(経)	社会政策	1.ライフコースのなかでどのようなときに社会政策が関わってくるのか、基礎的な理解に到達すること 2.さまざまな政策課題に対して自分なりの議論ができるようになること	3		○		◎			
E-EC-306L	主要専門(経)	社会保障	1.国や地域、時代によって人々を支える仕組み、支え合う仕組みに違いがあることを把握すること 2.授業をふまえて社会で生じるさまざまな現象について自分なりに問題意識を深めていくこと	3		○		○			
E-EC-307L	主要専門(経)	国際経済学	・国際経済学の基本的知識を理解し、説明できるようにする。 ・理論を実際の国際経済の現状に当てはめて、グローバルな財や資本の移動について考えることができるようになる。	3		○		◎			
E-EC-308L	主要専門(経)	国際金融論	1.国際収支表や為替レート、国際資本移動のメカニズムが理解できる。 2.通貨危機、金融危機、累積債務問題等グローバルな問題が説明できる。	3				○			
E-EC-309L	主要専門(経)	公共経済学	政府の経済活動についての理解を深める。課税の代替効果、所得効果について、図を使って説明できるようにする。また、外部性や公共財が存在する場合の問題とその解決方法について、説明できるようにする。	3		○		◎			
E-EC-310L	主要専門(経)	地方財政論	地方財政に関する制度と制度による影響を経済理論を用いて理解することで、日本の地方財政が直面している課題や対策について学生自身が考察できるようにする。	3		○		○			
E-EC-311L	主要専門(経)	アジア経済事情	単線的ではないアジア諸国の動向や、国際化の中で我が国との関わりを理解することで、アジア経済や発展に関する概要を理解することを目標とする。また、アジア関連の経済記事を理解できることも目標とする。	3		○		○			

E-MN-206L	主要専門(営)	経営組織論	(1)組織のさまざまな取り組みや組織の中の人々の行動について理解するための基礎知識を習得すること。 (2)講義で学んだ知識にもとづき、自らが直面している課題や新聞、ニュースなどで報道されている内容について、分析・考察できるようにすること。	2		○		○	○	◎	○
E-MN-301L	主要専門(営)	マーケティング論	マーケティングに関する一般教養や専門試験レベルの内容を修得すると同時に、実践的なマーケティング活動、営業活動などに資する能力を修得します。	3				○		◎	
E-MN-207L	主要専門(営)	経営戦略論	戦略経営に関する一般教養や専門試験レベルの内容を修得すると同時に、実践的な戦略策定活動に資する能力を修得します。	2		○		○		◎	○
E-MN-302L	主要専門(営)	経営管理論	(1)企業活動を支える経営管理の考え方を習得すること。 (2)講義で学んだ考え方にもとづき、実際の企業で生じている出来事について分析・考察できるようにすること。	3				○		◎	○
E-MN-313L	主要専門(営)	企業論	1.企業誕生の経緯、企業の役割や機能、構造について基礎的な知識を習得する。 2.上記の知識を踏まえて、複眼的視点を持って企業を取り巻く様々な課題について考え、実践的に解決できる能力を習得する。	3				○		○	
E-MN-303L	主要専門(営)	国際経営論	(1)国際経営に関する理論や概念を説明できるようにする。 (2)日本企業の国際展開や国際事業活動の特徴について説明できるようにする。 (3)現代企業における国際事業活動の問題点や課題について考察できるようにする。	3				○		◎	

E-MN-213L	主要専門(営)	経営史	経営者（創業者）がどのような意欲と社会的使命を持って起業してきたかという理念・思想等を学ぶことにより、将来自分が就職しようとする企業や組織、あるいは就職した企業や組織の理念を理解することで、そこで働くことの意義を見出し、より充実した社会人としての能力をいかにせるようになる。	2				○		○			
E-MN-214L	主要専門(営)	租税論Ⅰ	所得税法の問題を中心に、租税法の基本的な考え方を理解できるようになります。ただ、租税制の理解だけではなく、現在の問題点も把握し、それに対して自分の考えを持てるようになることを目指します。	2			○		○	○		○	
E-MN-314L	主要専門(営)	租税論Ⅱ	間接税である消費税法は、租税論Ⅰ（所得税法）および税務会計論（法人税法）のような直接税と理論や仕組みが異なることを学びます。また、間接税の仕組みを踏まえ、現在・未来の財政の在り方や企業経営を検討するための基礎知識の修得を目指します。	3			○		○	○		○	
E-MN-103L	主要専門(営)	会計学概論	当該講義は、会計学の基礎知識を身に付けることを目的としている。なお、当該知識は教職免許（商業）においても必要な知識となります。このため、到達目標としては以下の2点を掲げます。 1.会計学の基礎的な知識（会計用語や会計制度等）を理解し、説明できる。 2.財務諸表を読むことができる。	1					○		◎		
E-MN-304L	主要専門(営)	経営分析論	受講者の関心のある会社や就職したい会社の財務諸表からその会社の状況を推測できる基礎的能力を身に付け、企業活動の分析能力の習得を目指す。	3					○		◎		
E-MN-305L	主要専門(営)	財務管理論	多様化かつ複雑化している金融・資本市場を理解するとともに、企業における財務的意思決定に必要な不可欠な知識と操作能力の修得を目指す。	3					○		○		
E-MN-306L	主要専門(営)	税務会計論	法人税法の問題（間接税等を含む）を中心に、租税法の基本的な考え方を理解できるようになります。ただ、租税制の理解だけではなく、現在の問題点も把握し、それに対して自分の考えを持てるようになることを目指します。	3					○		◎		
E-MN-307L	主要専門(営)	管理会計論	管理会計の考え方・意義・計算手法を理解すること。 管理会計がどのように経営元利に役立つかを説明できるようになること。	3					○		◎		
E-MN-203L	主要専門(営)	財務会計論	会計の意義、資産の評価基準や収益の認識基準などの財務諸表作成のルールや考え方を理解し、説明できることを目標とする。	2					○		◎		
E-MN-308L	主要専門(営)	監査論	財務諸表監査がいかなる基本的概念の下で、どのような方法論を用いて実施されているかを理解する。併せて、財務諸表監査が現代の経済社会で果たしている役割について理解する。	3					○		○		
E-MN-204L	主要専門(営)	原価計算論	様々な原価計算の手続きや計算方法に関する知識を習得すること。 原価計算の問題を機械的に解けるだけでなく、背後にあるロジックを説明できるようになること。	2					○		○		
E-MN-211L	主要専門(営)	製品開発論	(1)製品開発に関する理論や概念を説明できるようになる。 (2)製品開発機能の国際化や企業の共同開発の特徴や問題点について説明できるようになる。 (3)価値が多様化する現代社会における製品開発の課題について考察できるようになる。	2					○		○		
E-MN-214L	主要専門(営)	国際法	国際化が進む現代社会と、国家間関係を規律する国際法の特徴を学びます。条約法や国家責任といった国際法の基本構造に加えて、地球環境問題への取組みや安全保障など、企業経営に関連の深い分野の国際法に関する基礎的な知識の修得を目指します。	2				◎		○			
E-MN-312L	主要専門(営)	消費者行動論	消費者の購買意思決定プロセスについて説明できる。消費者心理の基本的な枠組みを説明できる。自分自身や周囲の人の消費者行動を理論や概念を使って説明できる。	3					○		◎		

E-IN-104L	主要専門(情)	プログラミングⅠ	簡単なプログラムを読んで理解できるようになる。プログラミングの基本事項を理解し、簡単な説明ができるようになる。	1			○		○		○		○	◎
E-IN-105P	主要専門(情)	プログラミングⅠ実習	手続き型言語で簡単なプログラムを作成できるようになる。	1			○		○		○		○	◎
E-IN-204L	主要専門(情)	プログラミングⅡ	イベント駆動型のプログラミング、オブジェクト指向型のプログラミングについて理解し、簡単なアプリケーションを作成できるようになること。	2								○		◎
E-IN-205P	主要専門(情)	プログラミングⅡ実習	イベント駆動型のプログラミング、オブジェクト指向型のプログラミングについて理解し、簡単なアプリケーションを開発できるようになること。	2								○		◎
E-IN-210L	主要専門(情)	機械学習と人工知能	代表的な機械学習アルゴリズムやニューラルネットワークの仕組みについて、説明ができる。 また、それらを活用し、データを処理・分析することができる。	2			○		○		○		○	◎
E-IN-208L	主要専門(情)	情報基礎理論	情報科学・情報技術の基本事項を説明できるようになる。また、情報科学・情報技術の基礎的な計算ができるようになる。	2								○		○
E-IN-207L	主要専門(情)	マルチメディア論	マルチメディアを実現するに至った技術について理解する。また、マルチメディアの進化に伴う、社会の変化について把握する。これらにより、マルチメディア検定3級程度の内容を理解できるようになることを目指す。	2								○		○
E-IN-301L	主要専門(情)	ネットワーク科学	OSIの7層モデルと各階層の基本的な役割、LANやIPv4といった実社会で広く使われている通信技術について理解し、実際に活用できるようになる。	3								○		○
E-IN-302L	主要専門(情)	情報ネットワーク	TCP/IP、ルーティング、セキュア通信など現在と将来のインターネットを支える重要なプロトコルを理解し、実際に活用できるようになる。	3								○		○
E-IN-303L	主要専門(情)	情報システム設計論	情報システムの分析設計プロセスを理解し簡単な説明ができるようになる。情報システムの設計図であるUML図を読み取れるようになる。	3								○		○
E-IN-304P	主要専門(情)	情報システム設計実習	情報システムの分析設計プロセスを理解し、情報システムの設計図であるUML図を作成・説明できるようになる。	3								○		○
E-IN-305L	主要専門(情)	データベース	(1)リレーション、スキーマ、キーなど、リレーショナルデータベースの基本概念を理解すること。 (2)リレーションに対する基本的な問合せ方法を理解し、記述できること。 (3)現実世界のデータをリレーションにマッピングする方法（スキーマ設計）や注意点を理解すること。	3								○		○
E-IN-306L	主要専門(情)	ビッグデータ活用	データマイニングとテキストマイニングについての基礎知識を学ぶ。また、これらを実践する際の一連の流れについても理解する。その上でさらにデータマイニングとテキストマイニングのツールについても理解を深め、それらのツールを実際に使えるようになることを目指す。	3								○		○
E-IN-209L	主要専門(情)	CGと画像解析	本科目では、画像解析・コンピュータグラフィックス・VR技術をメインとして取り扱い、マルチメディアデータの解析・可視化・処理手法の理解について取り扱う。	2								○		○
E-IN-308L	主要専門(情)	ビジネスとデータサイエンス	収集されたデータに対しExcelなどのツールを介しての問題解決手法を、経営科学の視点から検討・評価する能力を身につける。実際に機関から公開されている問題やデータに対しExcelより分析の実践を行い、本講義に関連する問題を十分に解答・司会する知識の習得を図る。	3					○		○		○	○
E-IN-311L	主要専門(情)	情報セキュリティ	・情報セキュリティ管理システムについて理解し、その概要を説明できるようになる。 ・セキュリティインシデント対応について理解し、その概要を説明できるようになる。 ・セキュアなソフトウェア開発について理解し、その概要を説明できるようになる。	3								◎		○
E-IN-309L	主要専門(情)	システム監査とITマネジメント	情報システムの開発や利用・運用において、さまざまな視点からシステムを評価することができるようになる。	3								○		○
E-IN-310L	主要専門(情)	情報と職業	以下の項目を達成目標とする。 1.情報系企業の業種や職種の概要を説明できる。 2.情報系企業の各職種のキャリアパスと資格および必要スキルについて説明できる。 3.情報システム開発の流れおよび各職種の役割を説明できる。 4.情報系企業で利用されるツール（オーダー制、RFPなど）について必要性と概要を説明できる。 5.情報教員としての役割を説明できる。	3								○		○
E-CS-303L	主要専門(職)	職業指導	1.主要なキャリア理論から、現代の高校生を指導する際に活用できる内容を抽出できる。 2.進路指導における自分探し・夢探しの指導について、自分の意見を述べることができる。 3.人は何故働くのか、何のために働くのかという哲学的な問いに、簡潔に答えることができる。 4.高等学校での生徒の進路相談を想定して、実際の場面での留意事項を列挙できる。	3			○		○		○		○	○